

奈良県の「関西広域連合」に対する考え方

「関西広域連合」は、2府5県（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、徳島県、鳥取県）が参加することとなる新たな自治体です。

各府県から持ち寄った業務などを共同で処理する組織ですが、奈良県は「関西広域連合」について以下のように考えています。

県の上に組織をつくることで手間もお金も…

広域連合だと手間がかかる

意思決定の手続きに時間がかかり業務が遅れる可能性があります。
（原則として意思決定には参加する全ての知事の賛成が必要）

お金もかかる

議会もある大きな組織ですので、業務実施の経費以外に組織のための経費がかかります。（組織のための経費は1団体約2～3千万円）



広域連携で十分!!

広域連携とは

広域で実施した方が良い業務ごとに、各府県の判断で協力して進める方法です。



実施している広域連携例

近畿府県合同の防災訓練
三重県、和歌山県との「吉野・高野・熊野の国」の建国による観光振興
大阪府、和歌山県とのドクターヘリの共同利用

手間は？ 連携したい知事どうして賛成すれば実施できます。

お金は？ 業務を実施する経費のみで、新たな組織の経費はかかりません。



分権でなく集権？

- ・広域連合は、参加する府県から業務を持ち寄るため、権限も移譲されます。府県から、より広いエリアの業務を処理する広域連合へ権限移譲するのは、分権ではなく、集権では？
- ・大きな団体になればなるほど、行政が県民から遠ざかり、サービスが行き届かない心配が出てきます。

広域連合では、奈良県の特徴・独自性を盛り込んだ施策が出来ないのでは？

以上のことから、今回の参加を見合わせました。

参加については、今後、良い成果がたくさん出てくれば、状況を見極め、慎重に判断したいと考えています。

【詳しくお知りになりたい方は下記まで】

☎ 県政策推進課 ☎ 0742・27・8306 FAX 0742・22・8012

奈良県政策推進課

検索

